

令和元年度 男女共同参画都市宣言

男女共同参画に関する作品

# 入賞作品集

一行詩部門 & 写真部門

## 男女共同参画都市宣言

社会のあらゆる場で 男女の人権は 互いに尊重されることが必要です  
 私たち山形市民は 真のパートナーシップの実現を目指し  
 さまざまな分野に 男女が平等に参画できる社会を創ります  
 次代を担う子どもたちに ともに信頼し支え合う大切さを伝え  
 市民一人ひとりが 力強く歩み続けることを誓い  
 ここに 山形市は 男女共同参画都市の宣言をします

平成10年9月 山形市

## 入賞作品総評

**井上 榮子** 審査員代表(山形市男女共同参画審議会会長 山形大学男女共同参画推進室准教授)

今年度の応募作品は、一行詩部門の大学・一般の部で305作品、中学・高校の部で1,695作品、写真部門で17作品でした。大学生の一行詩の応募は最多となりましたが、写真部門の応募が少なかつたので、来年度は奮って参加してください。思いを込めた作品を寄せていただいたことに感謝し、入賞者の皆様にお祝いを申し上げます。一行詩では、個性の尊重、性別役割、男女の協力などに関する力強い作品に加え、LGBTをテーマにした作品がありました。昨年度、山形市は「LGBT対応サポートハンドブック」を作成しており、理解がさらに広がることを期待します。また、今年話題になった「女性のハイヒール」を取り上げた作品もありました。この問題のように、差別の自覚はなくとも、「あたりまえ」の中に「無意識の偏見(バイアス)」が潜んでいます。そのような問題を発見し、一行詩や写真で表現することにチャレンジしてみてください。

**佐藤 孝弘** 山形市長

山形市では、平成10年9月に県内初、全国で14番目となる「男女共同参画都市宣言」を行い、平成25年3月には男女共同参画推進条例を制定し、「男女共同参画のまち山形」の実現に向け、様々な事業に取り組んでまいりました。

男女共同参画に関する作品の募集は、こうした取組の一環として平成13年度から毎年実施しており、今回で19回目となります。回を重ねるに連れ市民の皆様への周知が広がり、今回も幅広い年代から数多くの作品をお寄せいただきました。特に一行詩部門では、大学・一般の部において大学生からの応募が大幅に増え、中学・高校の部でも多くの学校でクラス・学年をあげて意欲的に取り組んでいただきました。ご応募いただいた皆様方、また学校関係者の方々に対し、心より感謝を申し上げます。

このたびの入賞作品では、男性が家事・育児に参画している日常、女性活躍推進への思い、性別にとられず個性を大事にしたいという強い意志など、表現されるテーマや内容は非常に多岐にわたっております。一方、いずれの作品におきましても山形市における男女共同参画に対する意識の高まりを強く実感し得るものであり、大変嬉しく、また頼もしく感じております。

こうした取り組みを通して、市民の皆様男女共同参画に対する理解がさらに深まり、誰もが個性と能力を発揮できる「男女共同参画のまち山形」の実現に着実に繋がっていくことを願っております。

## 審査員一覧

(順不同、敬称略)

- 山形市男女共同参画審議会会長 山形大学男女共同参画推進室准教授
- 山形市男女共同参画審議会委員 山形市立宮浦小学校校長
- 山形市男女共同参画審議会委員 山形市女性団体連絡協議会
- 山形市写真連盟会長
- 山形市企画調整部長
- 山形市企画調整部男女共同参画センター所長

- 井上 榮子
- 秋葉 典子
- 廣部 公子
- 軽部治悠紀
- 伊藤 浩之
- 草苺 早苗

## 写真部門 (応募総数17作品)



### 最優秀賞

**卵焼き** 大石 悠生 (第六中・2年)

卵焼きをしている様子をカメラで撮りました。

**審査員からのコメント**…パンダナをまいて卵焼きをする楽しそうな表情が良かったです。他にも男の子の料理に取り組む作品がありましたが、スナップ写真は主役の表情が大きなポイントですので選ばれました。フライパンの卵がもう少し見えたらもっと良くなるでしょう。

### 優秀賞

#### 目指せ、お料理男子!

石川 はる香 (松波)

赤ちゃんのお世話に忙しいママのため、最近お手伝いを頑張ってくれる長男とパパ。この日は二人でゆで卵の殻をむいてくれました。

**審査員からのコメント**…ゆで卵の皮むきを指導するお父さんと少し緊張気味のボクの表情がとても良いです。大きな手と小さな手の共同作業も微笑ましいです。たくさん家族のアルバムの中でも傑作の一枚になるでしょう。



### 入選

#### ドキドキ

池野 愛梨 (第二中・3年)

お母さんに教えられながら、弟が初めてメロン1玉を切り分け中。大好きなメロン、きれいに切れるかな。



### 入選

#### ボランティア精神

高橋 ひかり (第六中・2年)



ボランティア精神で協力して草むしりしている姿を撮りました。

### 入選

#### 理想の夫婦

渡辺 和哉 (沼木)

フリーマーケットに出店している夫婦ですが、販売は奥さんがメインで、旦那さんは、子守りがメインになっていて、微笑ましかったです。



# 一行詩部門 大学・一般の部 (応募総数 305 作品)

## 最優秀賞

君にできて僕にできないこと。  
僕にできて君にできないこと。  
教え合おう。一緒にやろう。  
きつと、そのほうが楽しいんだから。

渡部 大空 (東北文科大学)

審査員からのコメント：人々の理想の形を実現可能な易しい言葉で表現したこの作品はとても素晴らしいと思えました。この作品のような形が広がっていけば、平和で人権を認め合い、楽しく支え合う社会が実現されるだろうと大いに期待されます。

## 優秀賞

私の考える対等と貴方の考える  
対等は異なるようですが  
少しずつ折り合わせていけたら  
素敵ですね。

荒 真里奈 (山形大学)

## 優秀賞

どうキャリアを積んでいこう？  
女性だからと目標が絶たれるのは  
耐えられない。  
公私ともに充実した日々のために  
まずはあなたと話がしたい。

山田 早紀子 (山形大学)

## 入選

イクメンなんて言葉なくなればいい。  
女性がやってもすごいなんて言われぬのに  
「男性で育児してるの、すごい！イクメンだね。」  
世の中の頑張っている女性は  
評価されない時代ですか。

渡部 広大 (東北文科大学)

## 入選

三食昼寝付きと思いきや、専業主夫デビュー  
ああ、大変、やること多くてグッタリだ  
家族から歌がオンチと言われることは認めるよ  
でも、料理下手とは言われたくない、頑張るぞ

長谷川 聡美 (緑町)

## 入選

好きなことを好きだけ  
色んなことに挑戦したい  
人の目なんて気にせず  
性別なんて気にせず  
自分らしく歩みたい

白幡 美菜子 (山形大学)

## 入選

これからも配慮は必要  
これからは固定観念は不要

古谷 浩子 (山形大学)

## 入選

ヒール・パンプスの強要って  
女性に何を望んでいるの？  
対等に働きたいのに  
こんな所でつまづく  
疑問を持つことから  
社会の意識が変わり  
改革がはじまっていく

横尾 峰子 (寿町)

## 入選

男性は man  
女性は Woman  
男女の違いは「WO」  
社会にはびこる男女差別を  
「WO (With Out)」  
していきたいな

三澤 理史 (商業高・3年)

## 佳作

男と女がもっと一緒に働けば、  
新しい知恵が生まれると思いませんか。  
男女平等な社会の方が、  
様々な問題も減ると思いませんか。  
男の人が上なんて考えはもう古いですよ。

高橋 千渚 (第五中・3年)

## 佳作

父が、  
台所で料理している。  
洗濯物を干している。  
ごみ出ししている。  
そんな日常を  
私は素敵だと思う。

阿部 未来 (第七中・1年)

## 佳作

性別で差別しないで。  
今日も「自分らしく」輝いて。  
やりたいことに挑戦しよう。

渡辺 菜穂 (第十中・1年)

## 佳作

家事・育児  
母親、父親関係なく  
チームプレイ

板垣 彩乃 (高橋中・3年)

## 佳作

誰がやる？  
なんて迷わずに  
老若男女気づいた人がやればいい

中嶋 怜里愛 (山寺中・3年)

## 佳作

強くてやさしい女の子  
やさしくて強い男の子  
令和もこれだね！

岡崎 泰知 (蔵王第二中・2年)

## 佳作

いびつな形の葉でさえも、おぎない合えば  
一つの大きな木になるように  
男女の能力おぎない合えば  
一つのすてきな社会となるでしょう。

岡部 歩未 (商業高・3年)

## 佳作

小さな声が聞こえる  
女でもできるよ  
なめないで

小野 美優 (山形学院高・3年)

# 一行詩部門 中学・高校の部 (応募総数 1,695 作品)

## 最優秀賞

私はすごく不器用だから、家庭科は苦手。  
料理やさいほうは特に苦手。  
「女子力低いね。」それでいいの？  
周りの人からよく言われる。  
でも私は思う。  
女子力を上げることよりも自分らしく  
生きるこのほうがもっと大事で  
もっと誇らしいことだって。

齋藤 菜々香 (第二中・2年)

審査員からのコメント：人間の能力や性質を表す言葉に「女」「男」という性別を付けるのはもうやめましょう。誰かにとって都合のいい女性像や男性像が、人間そのものの生き方を不自由な枠にはめ込んでしまっているのですから、そんなことを改めて考えさせられる作品です。

## 優秀賞

LGBTは人ごとじゃない。  
君の周りにもいるかもしれない。  
怖くて言えない人だっているかもしれない。  
でも今私達が、そんな世の中を  
変えていくべきなんだ。  
変えていくんだ。

森居 莉那 (第七中・1年)

## 優秀賞

家事に子育て、女の仕事？  
家族を支える、男の仕事？  
一緒に子育て、笑顔が増える  
一緒に支える、安心できる  
一緒にすることのできる  
「愛」の輪

佐藤 愛 (金井中・3年)

## 優秀賞

女性へのDV  
「女は男のモノじゃない」  
痛みを我慢しないで  
助けを求められる社会をつくろう

小林 なつみ (商業高・3年)

## 入選

育児、しっかりしていますか？  
まかせっきりになっていませんか？  
話をきいてあげていますか？  
あなたはちゃんと  
『お父さん』なれていますか？

大沼 優衣 (第五中・3年)

## 入選

『男性トイレにオムツ交換台がない』  
『ミルクをつくって飲ませたくても授乳室は女性のみの』  
イクメンになりたくても不便な現状。  
弟とよく出かける父が困っている。  
イクメンを増やすにはもっと設備を増やしてほしいな。

横山 理恵 (第七中・1年)

## 入選

社会の授業  
「昔は、男が働いて、女が家事をしていたが、  
今は女性も働いています。  
でも、平均年収は、男性五二〇万に対し、  
女性が二八〇万です。」  
これを聞いておどろいた。  
男女で二四〇万も違うなんて…

安達 心美 (第八中・3年)

## 入選

保育士・看護師  
女性の方がむいている？  
消防士・警察官  
男性の方がむいている？  
そんな考えは違うと思う  
その仕事が好きなら  
やる気がある人が  
一番むいている人

五十嵐 湖々 (第八中・1年)

## 入選

先進国  
どんどん進む 共同参画  
日本はまだまだ遅れてる  
女性にもっとチャンスを！  
皆でつくろう  
よりよい社会  
明るい未来

櫻井 萌果 (山大附属中・3年)

## 入選

今日は授業参観。  
周りは全員お母さん。  
お父さんは僕一人。  
お父さんだって、子どもの成長  
みたいのです。  
他のお父さんも来ませんか？

佐藤 麻央 (山大附属中・3年)

## 入選

男女が  
協力する社会、  
平等に活動する社会が  
当たり前な社会。  
僕らの力で、  
未来を明るくしていこう。

安部 遥斗 (山形聾学校中学部・3年)

## 入選

なぜ正装のときはヒールなの？  
ヒールを履かなくてもいいじゃないと  
私も #Kutano に賛同する

高橋 想 (商業高・3年)

## 入選

平日公園でベビーカーをひいている  
よく見るあのおじさん  
「男で育児…。」  
なんて指差されていて悲しくなる  
何が悪いんですか？

日景 優希 (商業高・3年)